## 人工衛星GeoEye-1がとらえた「福岡県東平尾公園周辺」

データ提供:日本スペースイメージング株式会社 データ処理:東京理科大学・国土情報工学研究会

下図は、GeoEye-1がとらえた福岡県東平尾公園周辺の画像です。東平尾公園は「博多の森」の愛称を持ち、スポーツとレクリエーションを楽しむ公園として広く市民に親しまれています。GeoEye-1は、可視から近赤外にわたる観測波長帯域を4つのバンドに分けてデータを観測します。パンクロマチック画像とマルチスペクトル画像をバンド別に合成し、さらに、ナチュラルカラー、フォールスカラー、トゥルーカラー合成画像を作成してみました。カラー合成画像上の色調の違いによって、画像の「きめ」や「粗さ」といった、いわゆるテクスチャ特徴の見え方が異なります。トゥルーカラー合成画像に比べて、フォールスカラー、ナチュラルカラー合成画像上では、植生の分布状況が識別しやすいことがわかります。高分解能化、多バンド化する地球観測画像の判読支援策を考えることは、土地被覆状況を分析する上で重要な研究課題の一つとなっています。

